

平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

平成27年度は、「一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟」として発足し、社会的に認められた組織として活動を開始してから3年度目となった。平成25年9月7日に東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催が決定され、平成26年度から障がい者スポーツの所管が厚生労働省から文部科学省に移行された。また平成27年10月1日には文部科学省の外局として「スポーツ庁」が発足、スポーツ行政の一元化が行われ、障がい者スポーツを取り巻く環境は、助成制度の変更など大きく変化した。当連盟もその影響を大きく受けることとなった。これらは、当法人支出の増加や業務量の増加として出現し、当年度の大きな赤字や資金不足という結果を招いている。

しかしながら、多くの会員が楽しみにしている全国大会開催への努力をはじめ、2020年の東京大会に向けて、選手の強化や大会運営への協力など早期・着実に取り組むことも当連盟に課せられた使命である。このため、新たに設置された公益財団法人「日本財団パラリンピックサポートセンター」に東京オフィスを構え、同サポートセンターの助成金を活用した他、協賛企業の獲得に全力をあげた。

具体的な事業では、地域連盟による大会開催への支援や「ジャパンパラ水泳競技大会」の共催を行った他「第32回日本身体障がい者水泳選手権大会」を初めてIPC-SW公認大会とし、視覚障がい者のクラス分けや国際交流事業も合わせて宮城県G21プールで実施した。また、リオ2016パラリンピックの出場枠獲得のためイギリス・グラスゴーで開催された「IPC-SW世界選手権」に選手を派遣し、出場枠を獲得した他、選手育成や強化のため、競技力向上を目指して、合宿や海外派遣などを実施した。さらに、2016年度の日本代表選手及びリオ2016年パラリンピック代表候補選手選考のため、春季静岡記録会を選考戦として開催し、19人（知的障がい選手含む。）の選手を選考した。

選手発掘のための仕組みを強化するとともに、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（以下、「JPC」という。）主催の発掘イベントに参加するなど積極的に取り組んだ。

また、選手を支える指導者の研修会や連盟の体制基盤強化のため、データベースシステムの改良など事務体制機能の拡充にも取り組んだ。

<主な取り組み>

I 競技会の開催及び支援・後援事業

1. 地域連盟による大会開催支援

競技運営指針などを示すとともに、役員派遣などを行った。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 平成27年6月 7日（日） | 第25回東北身体障害者選手権水泳競技大会 |
| 平成27年6月14日（日） | 第29回関東身体障害者水泳選手権大会 |
| 平成27年6月14日（日） | 第22回中部障がい水泳選手権大会 |
| 平成27年6月14日（日） | 第26回近畿身体障害者水泳選手権大会 |
| 平成27年5月31日（日） | 第21回中国四国身体障害者水泳選手権大会 |
| 平成27年6月 7日（日） | 第26回九州障がい者水泳選手権大会 |

2. 第32回日本身体障がい者水泳選手権大会の開催等

平成27年11月8日・9日 宮城県総合運動公園総合プールで開催
女子144人、男子290人、合計434人の参加

視覚障がい者の国際クラス分け見直しに関連して、国際クラス分けを開催することとした。そのため、IPC—SW の公認大会とした他、ベトナム・韓国・シンガポール・オーストラリアの選手を招待し大会に参加、国際交流事業を行った。大会では、アジア新記録2、日本新記録20、大会新記録87が樹立されるなど、さらにレベルの高い大会となった。

また、日本選手権の開催地確保への取り組みを推進し、第33回大会を福岡市と決定した。

※上記2の事業に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）から、3,727,000円の助成金を受けた。

3. 2015ジャパンパラ水泳競技大会の共催

大会の共催を行い、役員派遣や大会運営に寄与した。また、2016年大会は、東京2020オリンピック・パラリンピックを視野に横浜国際プールでの開催を進めることとした。

4 静岡記録会の開催—リオ2016パラリンピック派遣選手選考戦—

平成28年3月6日（日）

静岡県富士水泳場

参加者数204人（男子143人、女子61人）

メディア関係者79社約170人

記録会終了後 選考委員会を開催 派遣標準記録を突破した6人と選考基準を達成した13人計19人を推薦することに決定

5 JPC 発掘事業への参加、発掘選手へのフォロー、障がい者のシンクロナイズドスイミングフェスティバルなど他団体開催事業への後援等

II 競技力向上事業

1. 強化・育成選手中央合宿の開催

第1回 平成27年4月11日（土）～12日（日） JISS プール

第2回 平成27年5月 2日（土）～ 5日（火） しあわせの村プール

第3回 平成27年5月15日（金）～17日（日） JISS プール

第4回 平成27年9月11日（金）～13日（日） JISS プール

<海外遠征対応合宿>

世界選手権直前（バジルトン合宿）平成27年7月2日（木）～8日（水）

IWAS 代表合宿（辰巳国際プール）平成27年9月4日（金）～6日（日）

<障がい別合宿>

○女子34Pリレー合宿

平成27年 8月11日（火）～15日（土） 三重県鈴鹿水泳場

平成27年10月16日（金）～18日（日） JISS プール

平成27年11月20日（金）～23日（月） JISS プール

平成27年12月23日（水）～26日（土） JISS プール

平成28年 1月29日(金)～31日(日) JISS プール

○視覚障害者合宿

平成27年12月20日(日)～21日(月) 立教大学新座キャンパス

＜国立スポーツ科学センター(JISS)・立教大学プールの借り上げ＞

平成27年4月1日～平成28年3月31日(JPC助成対象は1月31日まで)

2. 地域エリア合宿の開催

(1) 東エリア

平成27年5月30日(土)～31日(日) 筑波大学室内プール

平成27年11月28日(土)～29日(日) 立教大学池袋プール

(2) 西エリア

平成27年6月6日(土)～7日(日) 海上自衛隊阪神基地隊プール

平成27年12月5日(土)～6日(日) スイムピア奈良

(3) 南エリア

平成27年4月18日(土)～19日(日) 福岡市障がい者スポーツセンター

平成27年11月28日(土)～29日(日) 福岡市障がい者スポーツセンター

3. 海外大会等への派遣

(1) 2015IPC-SW 世界選手権大会

イギリス・グラスゴー平成27年7月13日(月)～19日(日)

＜参加人数＞

選手20人、役員21人 他にJSC マルチ、研究開発スタッフ

＜メダル獲得数など＞

金2個、銀4個、銅1個 合計7個

日本新記録8、大会新記録3

リオ派遣枠の獲得 4

(2) 2015IWAS 大会

ロシア・ソチ

平成27年9月22日(火)～10月5日(月)

参加人数30人(選手15人、スタッフ15人)

銀3個、銅4個、合計7個

(3) 2015アメリカ・カナダオープン

平成27年12月6日(日)～14日(月)

参加人数19人(選手12人、スタッフ7人)

金23個、銀13個、銅6個、合計42個

世界新記録1、アジア新記録12樹立

※上記1～3の事業に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)の競技力向上事業(選手強化活動事業)として、44,782,000円の助成金を受けた。

4. 会議等の開催

- (1) 2015強化・育成・発掘担当者会議
平成27年4月11日(土)味の素ナショナルセンター
- (2) 東京2020パラ水泳強化推進拡大会議
平成27年10月31日(土)東京シティエアターミナル

- (3) 世界選手権準備会議
平成27年6月21日(日) しあわせの村

- (4) 東京2020強化推進会議
第1回平成27年4月29日(水・祝)連盟本部事務所
第2回平成27年5月22日(金)三宮研修センター
第3回平成27年8月31日(月)三宮研修センター
第4回平成27年12月21日(月)三宮研修センター
第5回平成28年2月18日(月)三宮研修センター

※上記4の事業等に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)の競技力向上事業(体制整備事業)として、7,218,000円の助成金を受けた。

5. 強化指定選手制度・育成指定選手制度の運用

基準を定めて選考、IPC-SWライセンス登録にあわせて、暦年で運用
強化指定選手27人、育成A選手23人、育成B選手18人、合計68人
(平成28年3月1日現在)
IPC-SWライセンス登録者数74人(平成28年3月1日現在)

Ⅲ 指導者研修会の開催と普及

1. 指導者研修会

平成28年1月23日(土)～24日(日)
神戸市社会福祉協議会と共催
しあわせの村あおぞら会議室・プール
天候の影響で、一日の研修に切り替えた
参加者数36人
受講を終了した者で希望者は指導者登録をし、登録証を渡している。(登録料4年間で1万円)

2. 競技運営研修会(公認競技役員養成研修会)

平成27年11月21日(土)～22日(日)
福岡市障がい者スポーツセンター
参加者数26人

3. 海外派遣研修

2人
国際 Educator 更新、Classifier 更新

平成27年11月23日(月)～12月7日(月)
シンガポール、スポーツハブ OOBBC アクアティックセンター

IV 法人運営事業

1. 広報事業

ホームページの運用、日本代表選手のページ作成、
日本選手権におけるユーストリーム配信
JPC発掘事業における連盟紹介など

2. 組織体制の強化・充実

(1) 平成27年度競技会参加会員数

女子206人、男子439人、合計645人
団体登録数77団体

(2) 技術支援会員

4年間の会費8千円で制度として位置付け
平成28年3月31日現在、58人が登録

(3) 正会員 6名

(4) 役員(平成28年6月28日現在)

理事21名(うち会長1名、副会長2名、専務理事1名、常務理事6名)
特別顧問2名

(5) 事務局

本部事務所 4名(非正規、賃金職員) 東京オフィス1名(非正規、賃金職員)

3. 総会・理事会など

(1) 第1回理事会

平成27年6月20日(土)

三宮研修センター会議室

第1号議案 平成26年度事業報告について

第2号議案 平成26年度収支決算について

第3号議案 基金の返還及び代替基金への積み立てに関する議題の定時総会への
提出について

第4号議案 東京2020強化推進委員会の設置に関する規則の制定について

第5号議案 従たる事務所の設置について

第6号議案 常勤の理事の報酬等の支給基準の一部改正に関する議題の定時総会への
提出について

定時総会の招集について

報告事項

平成27年度事業計画及び予算の進捗状況について

コンプライアンス・ガバナンス強化について

平成27年次会計実地検査の受検について

日本記録データについて

(2) 定時総会

平成27年6月27日(土)

○報告事項

平成26年度事業報告及び収支決算について
平成27年度事業計画及び予算の進捗状況について
東京2020強化推進委員会の設置について

○議決事項

第1号議案 基金の返還及び代替基金への積み立てについて
第2号議案 常勤の理事の報酬等の支給基準の一部改正について
第3号議案 理事21名の選任について

(3) 第2回理事会

平成27年6月27日(土)

役職理事の選任について

第1号議案 平成27年度正会員の入会について

(4) 第3回理事会

平成27年1月23日(土)

しあわせの村野外活動センター会議室

○議決事項

第1号議案 平成27年度収支補正予算案
第2号議案 平成28年度事業計画案
第3号議案 平成28年度収支予算案
第4号議案 常勤理事報酬等の支給基準第2条に基づく給与の基準の改定
第5号議案 臨時総会の招集について

○報告事項

日本財団パラリンピックサポートセンター及び東京サテライトオフィスの状況
について
平成27年度事業の進捗状況報告(平成27年12月まで)について
平成28年1~3月の事業見通しについて
平成28年度の日程概要について
2016リオデジャネイロ・パラリンピック関連事項について
東京オリンピック・パラリンピック関連事項等について
その他報告

(5) 平成27年度臨時総会

平成28年1月30日(土) 連盟本部事務所

○報告事項

平成27年度収支補正予算案
平成28年度事業計画案
平成28年度収支予算案

日本財団パラリンピックサポートセンター及び東京サテライトオフィスの状況
について

平成27年度事業の進捗状況報告（平成27年12月まで）について

平成28年1～3月の事業見通しについて

平成28年度の日程概要について

○議決事項

1号議案 常勤理事報酬等の支給基準第2条に基づく給与の基準改定

運営委員会

平成27年4月1日～平成28年3月31日の間

専務理事・常務理事・事務局との打ち合わせをメールも含め、随時行った。